＜強い東北の創造＞

重点事項：グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備

主な目標

①産業競争力を強化するため、港湾の物流機能の充実、高速交通ネットワークの整備等を図り、物流のスピード向上、コストの低減、安全性・定時性・信頼性を確保します。

②利用者の利便性向上を図るため、港湾、空港等へのアクセス機能の向上などマルチモーダル交通体系※を構築します。

※マルチモーダル（交通体系）：道路や航空、海運、水運、鉄道など、複数の交通機関の連携を通じて、利用者の利便性に対応した効率的で良好な交通環境が提供される交通体系。

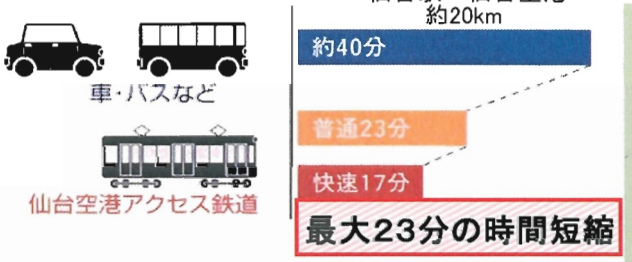
目標達成のためのH18年度の具体的な施策の例

・定時性・速達性などの空港アクセス機能を確保するため、都市から空港に直接乗り入れるアクセス鉄道の整備を進めます

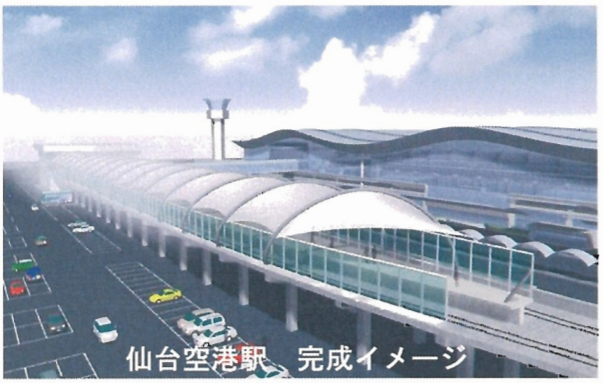
（具体箇所例）

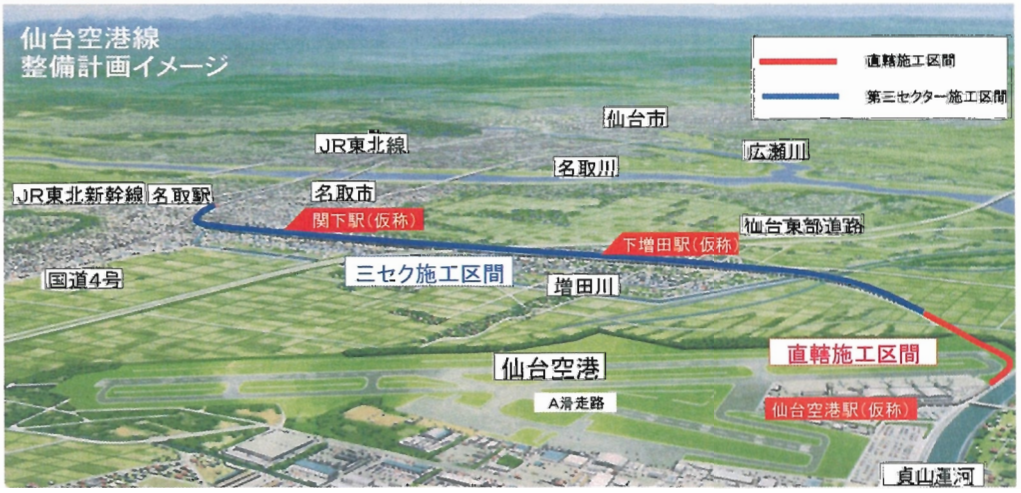
直轄：仙台空港アクセス鉄道　　（別冊P. 48）

●仙台空港アクセス鉄道の整備









▲仙台空港アクセス鉄道の整備により、空港へのアクセス時間が短縮されます

・産業競争力を強化するため、港湾の物流機能の充実、高速交通ネットワークの整備等を図り、物流コストの低減等を図ります。

（具体箇所例）

直轄：一般国道283号 仙人峠道路 （別冊P. 46）
補助：一般国道283号 仙人道路 （別冊P. 46）
釜石港須賀（すか）地区 多目的国際ターミナル （別冊P. 49）

●釜石港の物流機能充実とアクセス道路の整備



▲道路整備（仙人峠道路と仙人道路）と港湾整備（釜石港須賀地区多目的国際ターミナル）が連携し、物流の効率化に取り組み、国際的な産業競争力の強化を支援します

・大型船舶に対応した多目的国際ターミナルの整備や防波堤整備による港内の静穏度確保により、物流の効率化を支援します

（具体箇所例）

直轄：秋田港外港（がいこう）地区 防波堤整備 （別冊P. 47）
補助：石巻港 雲雀野（ひばりの）地区 多目的国際ターミナル

●秋田港外港地区における整備



▲多目的国際ターミナルの状況



※防波堤の整備によって港内の波の静穏度が向上し、航行船舶の安全性向上とターミナルでの積み卸しの効率化が図られます